

2020年東京大会を来年度にひかえた

我が校のオリンピック・パラリンピック教育（概要版）

中野区立江原小学校

○本校のオリンピック・パラリンピック教育で育成したい児童の姿

異国の文化や環境へ慣れ親しむ体験学習を通して、豊かな国際感覚を養うとともに、礼節を重んじ、思いやりやマナを守る規範意識、公正・公平な態度や公共の精神といった日本の国民性を身に付け、日本人としての自覚と誇りをもつ児童。



○主な実践

アスリート等を招いて

パラリンピアンやオリンピック等のゲストティーチャーとの交流や指導により、様々な運動やスポーツに親しみながら、フェアプレーやチームワークの精神を身に付け、自己の体力や技能の向上に意欲的に取り組む態度を育む。

世界の国々や日本の文化を理解する

日本人としての自覚と誇りを育てる「文化」について重点的に学ぶようにする。そのためにオリンピック・パラリンピック関係の図書を充実させるとともに、毛筆で書く日本の文化・芸能を鑑賞したり実際に体験・交流をしたりすることで理解を深める取組を行う。

平和で誰もが共生できる社会をめざして

ボランティアマインドの醸成や障害者理解の促進を図りながら、自尊感情を高めるとともに、多様性を尊重する心のバリアフリーを児童一人ひとりに浸透させていく。



○来年度（オリンピック・パラリンピックイヤー）への思い

オリンピック・パラリンピックイヤーをいよいよ迎えるため、オリンピック・パラリンピック教育を一層推進したり、校内のオリパラコーナーを充実させたりして、児童の気持ちを盛り上げていく。